

環境に配慮した具体的行動について

1. 市民の取り組み

(1) 明日から始められること

目的	行動例
省エネにつながる行動を実践する	■自宅でできること ・環境への負荷の少ない生活を心がける。(省エネチェック表の活用) ・早寝早起き等の、自然の摂理に従った生活を心がける。 ■外出の際にできること ・なるべく公共交通機関を利用する。 ・自動車を運転する際は、エコドライブを実践する。
生活や買い物で出るごみを減らす	■自宅でできること ・適切な保存方法により、食品を長持ちさせる。 ・ごみはきちんと分別し、リサイクルに協力する。 ■買い物のときにできること ・マイバッグを持参し、レジ袋の使用を削減する。 ・過剰包装の商品を買わない。 ・ペットボトル飲料はなるべく買わない。(マイボトルの使用を心がける。) ・食材を無駄にしないよう、食料品の買い方を工夫する。 ・地産地消を心がけ、旬の食材を買う。
自然環境への興味を持つ	■自宅でできること ・大人から子供に、生物とふれあった体験を話し、興味を持ってもらう。 ・身近な自然環境や自然の恵みについて、家族で話す。

(2) 近い将来実践していただきたいこと

目的	行動例
エネルギーを創り、賢く使う	■日常生活で取り組んでいただきたいこと ・住宅の遮熱、断熱性能を高める。 ・電力会社は、再生可能エネルギーによる発電の割合が高い事業者を選ぶ。 ・車を買う時は、電気自動車やプラグインハイブリッド車を選ぶ。 ・カーシェアリングを利用する。
3Rをさらに推進する	■日常生活で取り組んでいただきたいこと ・必要最低限を知り、個人消費を少なくする。 ・生ごみ処理機(コンポスト)を使う。 ・未開封・手つかずの食品で、賞味期限が一定期間以上残っている食品は、フードバンクに寄付する。
水や緑を活かす	■日常生活で取り組んでいただきたいこと ・生垣や庭木、花壇等の身近なみどりを育てる。 ・雨水貯留浸透施設を設置し、雨水の利用を進める。
自然とふれあう	■自宅以外で取り組んでいただきたいこと ・農業や漁業、キャンプ等を小さい頃から体験し、自然にふれあう。

2. 事業者の取り組み

(1) 明日から始められること

目的	行動例
省エネを意識して業務を行う	■日々の事業活動でできること ・オフィス等でのエネルギー使用量を減らす。(省エネチェック表の活用) ・資材や商品を買う際は、グリーン購入を心がける。 ■外出の際にできること ・なるべく公共交通機関を利用する。 ・自動車を運転する際は、エコドライブを実践する。 ・効率の良い配送や運送に努める。
事業活動に伴うごみを減らす	■日々の事業活動でできること ・紙の裏面利用や両面印刷を心がけ、使用枚数を減らす。 ・使用後の紙はリサイクルする。 ・事務用品等は詰め替えをして長く使用する。 ・不要になった備品等は、必要とする他の部署に譲る。 ・ごみを捨てる際は、リサイクルを意識して分別に協力する。

(2) 近い将来実践していただきたいこと

目的	行動例
エネルギーを創り、賢く使う	■事業所内で取り組んでいただきたいこと ・太陽光発電設備などの再生可能エネルギー設備を導入する。 ・業務用自動車を買替える時は、電気自動車やプラグインハイブリッド車を選ぶ。 ・BEMSを導入し、エネルギーの適切な管理を行う。 ・事業所や工場等の遮熱・断熱性能を高める。
製品のライフサイクルにおける環境負荷を減らす	■製品・サービスの提供にあたって取り組んでいただきたいこと ・消費者が必要な量だけ買えるよう、ばら売りや量り売りを進める。 ・消費期限が近いものは割引販売にする等して、食品ロスの削減に努める。 ・買い物客のマイバッグ持参を促すような、レジ袋の料金設定とする。 ・梱包材の量は最小限とし、リサイクルのできる梱包材を用いる。 ・再配達防止のための工夫をする。
働き方改革により省エネを実現する	■働き方に関して取り組んでいただきたいこと ・在宅勤務の導入により、業務に伴う移動を減らす。 ・コンビニエンスストア等の長時間営業を見直す。 ・ペーパーレス化を進める等、資源の消費を抑える。
地域社会に貢献し、企業価値を高める	■CSRに係る取り組みを推進する ・事業活動に伴う環境負荷の状況や、環境保全活動等の実施状況について、積極的に情報公開する。 ・従業員研修の実施による環境意識の向上や、社会貢献活動の一環としての地域での環境学習の機会を提供する。 ・地域の環境保全活動に積極的に参加し、環境学習活動を支援する。